

事務事業名		市民バス等運行事業			会計	一般会計		事業種別		政策	開始	10	終了		
H27担当課等名		リニア推進課		H27係等名	公共交通係		H26係等名		交通政策係						
基本計画上の位置づけ		政策	4	暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり											
		施策	44	交通機関と道路の充実											
目的	対象(誰・何を)	市民、来訪者										指標名及び単位		26年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	地域公共交通の利用ができる										飯田市の人口(単位:人)		102446	
	向上させたい上位施策の成果指標	市内の移動に不便を感じる市民の割合(交通機関)(%)													
目標	種別	指標名及び単位			26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)						
	成果指標	路線バスの全体利用者数(単位:人)			316805	345690	328852	308307							
	成果指標	乗合タクシーの全体利用者数(単位:人)			23313	25133	25322	20693							
	定性目標														
事業概要	1 多様な主体(市民、交通事業者、行政等)で構成される「飯田市地域公共交通改善市民会議」(協議会)による市域の公共交通の改善検討及び広域連合、他町村との連携による南信州地域の公共交通のあり方検討 2 運行支援(運行欠損額補てん) (1)バス:循環線、大休線、三穂線、千代線、久堅線、遠山郷線、平岡線、駒場線、阿島線 (2)乗合タクシー:竜東線、三穂線、川路線、かざこし線、上市田線、遠山地域5路線、平岡線、八重河内線、遠山郷高校通学支援線 3 公共交通再編検討 4 利用促進事業 (1)バス(JR飯田線含む)、乗合タクシー(地区別、路線別)時刻表の作成、配布 (2)まちづくり委員会、地区民協等との連携 等														
	26年度事業内容	事業内容				名称				活動指標					
		1 「地域公共交通改善市民会議」(協議会)による地域公共交通の改善検討 2 運行支援(運行欠損額補てん) (1)バス (2)乗合タクシー (3)バス利用者数 (4)乗合タクシー利用者数 3 利用促進事業 (1)バス時刻表、乗合タクシー地区別時刻表・路線別時刻表の作成配布 (2)バス乗降調査 (3)地区民協、高齢者集まり等への出張PR				1(1)協議会開催数 1(2)部会等開催数 2(1)バス路線数 2(2)乗合タクシー路線数 2(3)バス利用者数 [H25対比] [106.2%] 2(4)乗合タクシー利用者数 [H25対比] [100.2%] 3(1)時刻表作成数 3(2)調査回数 3(3)出張回数				1(1)2回 1(2)7回 2(1)9路線 2(2)13路線 2(3)345,690人 [106.2%] 2(4)25,133人 [100.2%] 3(1)85,140部 3(2)15回 3(3)6回					
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足									
事業費計(千円)①		77,069	99,511	95,042	99,038	[25特定財源] 過疎対策事業費(ソフト事業分)20,500千円 地域振興基金利子4,099千円									
国庫支出金															
県支出金															
起債		20,500	29,000	26,000	34,120	[26特定財源] 過疎対策事業費(ソフト事業分)26,000千円 地域振興基金利子3,735千円									
その他		4,099	4,625	3,735	4,450	[27特定財源] 過疎対策事業費(ソフト事業分)34,120千円 地域振興基金利子4,450千円									
一般財源		52,470	65,886	65,307	60,468										
人件費計(千円)②		11,801		10,728											
正規職員所要時間		3,300		3,000											
臨時職員所要時間															
総事業費①+②		88,870	99,511	105,770	99,038										
事業内容・目標達成状況の振り返り		バス運賃見直し、高校通学に適したダイヤ改正などにより、バス、乗合タクシーともに利用者は増加している。(前年対比:バス106.2%、乗合タクシー100.2%で目標を達成している。)今後も、さらなる利便性向上に取り組み、利用者の増加を図る。バス運賃収入は前年対比:101.1%(税抜)となる。※平成27年4月より消費税が3%増税になっている。													
改革改善の考え方	①問題点	阿島線、駒場線、遠山郷線の利用者は運賃見直しなどにより順調に増加しているが、久堅線、千代線、三穂線といった朝夕2便/日のみのバス路線の利用者増には限界がある。													
	②改革提案	久堅線、千代線、三穂線については、乗合タクシーとの連携、調整などにより、中山間地域の運行の最適化を検討する必要がある。また、リニア駅からの二次交通のあり方について具体的な検討を開始する。													